

第12回 新規就農推進フォーラム

スモールイズビューティフル

—小規模農業が創る豊かな地域社会—

日時 平成28年11月26日(土)

13:00~19:00(受付 12:30~)

場所 東京農業大学農学部厚木キャンパス「トリニティホール」

(講義棟:受付は講義棟M2F)

【主催】 東京農業大学総合研究所研究会就農者推進教育研究部会
東京農業大学就農者育成支援プログラム検討委員会

【共催】 東京農業大学農学研究所
【後援】 東京農業大学教育後援会

◎講演会、討論会(13:00~17:00)

基調講演① 「豊かなコミュニティを創る地域サイズのワイナリー」
武田 晃(地域循環を考えている たかやしるファーム&ワイナリー)

基調講演② 「自立した農家なくして地域社会は維持できない」
長田 直己(消費者と交流する おさだ農園)

討論会 「大きいことは悪いのか」
コーディネーター 宮田 正信(東京農業大学総合研究所研究会就農者推進教育研究部会長)
コメンテーター 武田 晃、長田 直己、青木 悟(尊徳の考えで地域創りを行なう 青木農園)

◎情報交換会(17:30~19:00)

場所:レストランげやき(本部棟1F)(無料)



『スモール イズ ビューティフル』

グローバル化の中では拡大・生産性戦略をめざさない限り、負け組になってしまう。T P P しかり、規模の拡大、機械化、スマート農業しかりである。農業はビジネスチャンスのある産業であると、大企業が乗り出し、ホールディング化して、金だけに邁進するのは目に見えているし、当然の帰結となろう。

このような進路は環境を更に悪化させるだけでなく、ブラック化を促し、人と人との関わりを阻害し、格差が拡大して、豊かな暮らしを遂げることや豊かな社会を構築することを困難にする。

私達は自然豊かな環境や安全で豊かな社会の中でしか幸せになれないし、豊かな環境や社会の構築に関ることなしに、幸せで豊かな暮らしを獲得することはできない。

二宮尊徳は言う「経済を考えない道徳はたわごとで、道徳を伴わない経済は罪悪である」と。国家が負け組にならないためには、グローバル路線に乗るしかないかも知れないが、一方で「国勝って山河なし」が現実となる。今日までの成長過程で、経済性や合理性、利便性を追求するあまりに、社会も人も疲弊し、中でも地方や中山間地域は消滅の危機にさらされている。

豊かな地域社会はグローバル化の論理や数値化された評価だけでは構築できない。地域に根ざした農家こそが豊かな地域社会の担い手になっている。企業は地域から人、モノ、金を奪っても地域を守りはしない。農家は食料の供給だけでなく、国土や環境の保全、景観、社会、福祉、教育、文化などのあらゆる場面で、まさに農業の持つ多面的機能を具現化しているし、相互扶助の担い手として安心・安全な社会を具現化させている。

スモール イズ ビューティフルである。独立した小規模農家こそが地域を救う。地域における農家の役割や暮らしの実態を明らかにし、課題を抽出する。そしてこれからどのような意識や手法で未来を切り拓けばよいのか、みんなで考えたい。

(宮田 正信：東京農業大学総研研究会就農者推進教育研究部会長)